

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行う取り組みについて、毎月お伝えします。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】  
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



～千年の歴史  
を未来へ～  
さんぽ Vol.32

国見町ラジオ課ももたん FM 「歴史探訪」で国見の歴史・文化財を紹介しています！ ももたん FM

毎週金曜日午前 10 時から放送されている「国見町ラジオ課ももたん FM」の「歴史探訪コーナー」では、あつかし歴史館の笠松金次さんとももたん FM パーソナリティーの最上珠穂さんが町の史跡・文化財を訪れ、町の歴史や文化財の魅力を県内に発信しています。

今回は、1月31日に放送した「安養寺・木造薬師如来坐像」の収録の様子を紹介します。

はじめにあつかし歴史館で、紹介する安養寺の仏像について、最上さんの質問に笠松さんが答えました。

安養寺に到着すると笠松さんが「安養寺は、江戸時代のはじめに大木戸の大光寺と高城の大正寺が合



歴史館での収録

珍しい柱を解説

併して創設された曹洞宗のお寺です。建物は町内で一番古いと言われており、柱や梁は木材を継いで再利用。特に本堂の入り口を支える柱は、一般的な柱なら御影石などで作られるところまで木製であるところが特徴的です」と説明。

最後に、本堂に入り、檀家が寄進した木彫りの美しい欄間やそれを支える柱、本尊「木造薬師如来坐像」（町指定有形文化財）の解説を収録してこの日は終わりました。

町の歴史や文化財について興味のある方は、ももたん FM「歴史探訪」をお聞きください。町内の歴史を手軽に知ることができますよ。



本堂での収録



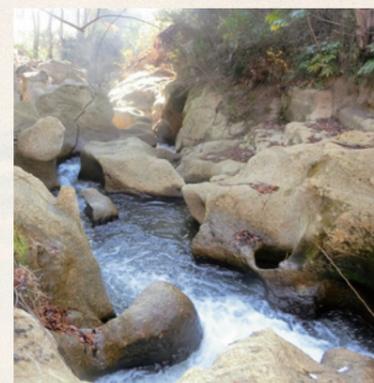
木造薬師如来坐像

国見のたからもの『滝川甌穴群』 (国道4号滝川橋付近)

滝川には古代から長い年月をかけて作り出された「甌穴」という景観があります。

「甌穴」とは、河底や河岸の固い岩や石の割れ目のくぼみに入った小石が水流で回転してできる円形の穴をいいます。

国見石の石切り場があった滝川橋周辺は、凝灰岩の地盤であったため、固有の渓谷景観を創り出しています。



文化財ボランティア・くにみ案内人養成講座 研修会を行いました！

1月22日、町文化財ボランティアと「くにみ案内人養成講座」修了者の合同研修会を開き、国登録有形文化財の「奥山家住宅」と同時代に建設された山形県郷土館「文翔館」などを見学し、現地のボランティアガイドの説明を受け、案内ガイドについて学びました。

町の文化財ボランティアは、町内の歴史や文化財を無料で案内しています。ぜひご利用ください。



国見の輝き人 ～国見町で活躍する人を紹介～ vol.2

一普段の仕事内容を教えてください。

道の駅国見あつかしの郷のくにみ市場で働いています。主な仕事は売り場の状況を見ながら、出荷組合員と売れ行きなどの情報を交換したり、出荷量の調整などを行っています。特に野菜や果物は季節ごとに変わるので、出荷組合員とうまくコミュニケーションを取ってお客様に喜んでもらえる売り場づくりを心掛けています。

一今までを振り返ってみていかがですか。

オープン時はコンビニ部門担当でしたが、その後くにみ市場に配属となり、まもなく1年になります。当初はすべてが初めての経験で、覚えることも多く大変でしたが、周りに支えてもらいながら今日までやってきました。農産物のことは出荷組合員に教えてもらいながら勉強しています。出荷組合員が売れ行きが良かったことをうれしそうに報告してくれた時には、一緒にうれしくなります。

一今後の目標は

お客様には国見町は良いところだと思って帰っていただけるように、良い商品がたくさん並ぶ売り場を作っていきたいです。



情報交換する佐藤さん

今回は、道の駅国見あつかしの郷の「くにみ市場」で働く佐藤亮彦さんに道の駅での仕事についてなどをお聞きしました。



道の駅国見あつかしの郷 くにみ市場 副店長 佐藤 亮彦さん (第2)

「ふれあい動物園」 齋藤 瑠亜

「ひまわりの公園」 井砂 海志

「どうぶつらくえん」 渡邊 由奈

「ひまわりのにじの国」 佐藤 葵

国見小学校 (3年生)

小さな天才たち